

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
大花羽小児童・教師、くすの木会

Page 4-10

かけはし一般質問
3月定例会議

Page 10-12

審議案件と結果
2月随時会議
3月定例会議

Page 13

大花羽小学校閉校記念式典
茨城県に新滝下橋の
早期建設を要望

Page 14-15

令和5年度
一般会計予算（歳入歳出）
新規事業

Page 16

常総橋百景
「第十景 石下大橋」

No.241

発行月：2023年5月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会





かけはし インタビュー

市議会×大花羽小児童・教師、くすの木会

市議会(以下、議会)

大花羽小学校は創立何年で何人の卒業生を送り出しましたか。

大花羽小教師

明治22年10月、村の合併で創立され、創立133周年となります。昭和22年に「大花羽小学校」という現在の校名になったわけですが、そこから今年で76回目の卒業式になります。大花羽小学校としての卒業生は、今回の6年生で2,100人です。

議会

伝統ある大花羽小学校を巣立つ、また離れる子どもたちに、ひと言お願いします。

大花羽小教師

大花羽小学校プライドというのを大事にして欲しいと思います。大花羽小学校プライドとは、この学校ならではの少ない人数だけでも、強い絆であったり、学年を超えて友達を超えた兄弟のような繋がりで、自分たちで工夫して何でも頑張ることができるというプライドをしっかり持って、新しい生活に進んで欲しいと伝えていきます。それをしっかりと自信にして、これからの新しい生活や友達との出会い、出来事にまっすぐにチャレンジできる子どもたちになって欲しいと思います。

議会

児童の皆さんにお聞きします。これからの中学校、また菅原小学校での新しい学校生活で楽しみにしていることがあれば教えてください。

大花羽小6年生A

大花羽小学校は少ない人数で、6年間友達も同じでしたが、中学校ではいろいろな小学校から人が集まるので不安もあるけれど、部活動や学校生活の中で新たな友達と出会えるのがとても楽しみです。

大花羽小6年生B

中学校生活で楽しみなことは部活動です。部活動では美術部に入りいろいろな風景画を書きたいと思っています。

大花羽小5年生A

菅原小のみんなと一緒に勉強したり遊んだりすることが楽しみです。

大花羽小5年生B

学童で友達になった子とこれからはたくさん遊べたら良いと思っています。

議会

それぞれの思いで、中学校あるいは菅原小学校にいくと思いますが、友達と仲良くしながら、勉強に励んでください。

実行委員会にお聞きします。「大花羽小フェスティバル」実行委員会の正式名称及び構成員はどのくらいですか。

くすの木会

大花羽小で一番古くから見守ってくれたのが、昇降口横にあるクスノキだったので、実行委員会の名称を「くすの木会」として20人ほどで活動しています。

議会

フェスティバルの名称ですけれども、「ありがとう大花羽小学校2022」これに込め

た想いはどのようなものでしょう。

くすの木会

学び舎がなくなる寂しさもあるけれども、これから巣立つ子どもたち、見守ってくれた地域の人に、また大花羽小学校に感謝の意を込めて開催しました。

議会

フェスティバルを実施するにあたって、大変だったこと、また内容もいろいろな催しを行いましたけれども、中心とするところは何になりますか。

くすの木会

子どもたちが一番喜ぶ内容にしたいというのが強かったので、夜空に希望を乗せて飛ばすバルーンリリースです。バルーンは火が使えないのでヘリウムガスでしたが、入手するのが困難でそろえるのが大変でした。バルーンは中にLEDの照明を入れて、子どもたちが短冊に願いや希望などを書いて夜空に飛ばしました。ただし、飛ばしたままにできないので、紐をつけて回収できるようにして、



ありがとう大花羽小学校2022の様子

15メートルぐらいの高さまで上げるようにしました。

今回、統合するということで大花羽小学校の子どもたちだけではなく、菅原小学校の子どもたちにも参加してもらい、一緒に飛ばして一緒に感動してこれから同じ学び舎で楽しく過ごしてくれればという願いも込めて実施しました。

議会

いろいろと時間をかけて、本当に大変な思いをしながら小学校への感謝と思い出の時間をしっかり作り上げたわけですが、今後、この場所この地域がどうあつて欲しいか、その願いや想いを聞かせてください。

くすの木会

今回フェスティバルを多くの方にお世話になって行いましたが、国民学校の最後の卒業生の90歳ぐらいのおじいちゃんや3人ほど来てくれて、何年も会えなかったのにフェスティバルをやってもらったおかげで、同窓会のようなことができたと思えました。だから、何かのきっかけを作れば人が集まるのかなと思います。やはり、この大花羽地域のコミュニティの場として、みんなが集まって楽しむ、想いが伝わるような場所であってほしいなど強く思います。私たち若い世代が協力し合って、ここに住んでいてよかったと思える地区にできればと思っています。

(令和5年1月インタビュー)

※市民インタビューは感染対策を徹底して行っております。

聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。



草間 典夫 議員

議員

大花羽小学校の校舎利活用について、どのように検討しているのかを伺う。

総務部長

市シルバー人材センターの事務所としての利用で準備を進めている。大花羽小学校は市の中央部に位置しており移動効率がよいことや、建物や敷地についても十分な広さがあり業務を行う上で最適な場所である。また、学校跡地が有人施設となり、地域住民にとっても施設の安全安心を保てる利用策と考える。

議員

利用開始予定はいつ頃からになるのかを伺う。

幸せ長寿課長

令和5年の秋から年末までには事務所を移転して利用開始したいと考えている。4月以降、速やかに移転作業を進める予定である。

議員

市シルバー人材センター事務所予定以外の他の空きスペースの利活用について公募などは行わないのかを伺う。

質問

小中学校適正配置後の校舎等跡地の利活用と方向性

答弁

地域の意見や庁内の意向調査により、最適な活用方法を検討する

草間議員の
質問動画



資産活用課長

地域の意見や庁内の意向調査を行い、そのうえで空きスペースが発生する場合は、会社やNPO法人等様々な民間事業者の活用希望を把握して、公募による活用事業者の選定を検討していく。

議員

グラウンド、体育館施設の利用方法について伺う。

資産活用課長

グラウンドの一部については、引き続き児童クラブで使用していくが、体育館については現在決定している内容はない。

議員

体育館を利用しないのはもったいない。鍵が閉まった状態で、荷物置き場や埃まみれの空間にならないように、ぜひ利用方法を慎重に検討していただきたい。

また、今後における他の学校統廃合後の校舎等跡地利活用の方向性について伺う。

市長

民間提案制度を活用し、地域の声をしっかりと反映した形の跡地利活用を積極的に進めていく。



石塚 剛 議員

質問
デジタル田園都市国家構想に伴う
当市の取り組みと今後について

答弁
デジタル田園都市国家構想のトップ
ランナーとして取り組んでいく

石塚議員の
質問動画



議員

デジタル田園都市国家構想（以下「**デジ田**」）の内容を伺う。

市長公室長

デジタル技術により地方の社会課題解決、魅力向上、地方活性化を図るものとされている。

議員

デジ田に向けた当市の取り組みと計画について伺う。

市長公室長

令和5年度に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をデジ田に改訂する予定で、デジタルを活用した地方創生に取り組んでいく。

議員

デジタル化の鍵となるマイナンバーカード普及について伺う。

市民生活部長

令和5年2月末時点で、申請率73・2%、交付率65・1%で県、全国平均を上回っている。

議員

マイナンバーカード未取得者への対応を伺う。

市民課長

取得は任意だが、取得するメリットなど広報、周知を図っていく。

議員

デジタル推進委員の設置や今後の計画について伺う。

市長公室長

デジタル推進委員の検討、高齢者のスマホ教室等、デジタル化の浸透のための支援を行っていく。

議員

今後のデジタル社会について、市長の所見を伺う。

市長

デジタル化は、成長分野として注目されている。デジタル技術を生かした新たな地域経済、仕事の在り方、人口減少の中での労働生産性向上は重要な要素である。本田技術研究所との協定によるAIまちづくりは全国でも先進的な事例として国も注目している。また、当市の防災対策のデジタル化は、全国でもまれであり内閣府からお褒めもいただいた。今後も様々な分野でデジ田のトップランナーとして走れるように頑張っていく。

議員

今後デジタル化の推進で誰一人取り残さない未来創生の構築をお願いする。

議員

今後デジタル化の推進で誰一人取り残さない未来創生の構築をお願いする。

議員

今後デジタル化の推進で誰一人取り残さない未来創生の構築をお願いする。



吉原 晴照 議員

質問
小中学校適正配置
実施計画について

答弁
学校や地域の状況などを総合的に勘案し、
小中学校適正配置の取り組みを推進する

吉原議員の
質問動画



議員

第一段階の大花羽小学校と菅原小学校の現状を問う。

教育部長

両校の統合に係る詳細な調整も
整い令和5年4月1日から新たな
菅原小学校が開校となる。

議員

菅原小学校のスクールバス運行
について具体的に問う。

学校教育課長

利用基準を文部科学省基準の4
kmとしたうえで、利用できる最低
通学距離を3kmとし、利用料金は
無料。添乗員は原則として市によ
る配置はせず、必要な場合は利用
者間で協議検討することとした。

議員

第二段階の石下小学校、玉小学
校、豊田小学校の今後の進め方
について方針を問う。

教育部長

石下地区の3校の統合時期、適
正配置時期について、適正配置実
施計画案では5年以内と公表して
いる。まずは、適正配置に係る保護
者等への意識調査を実施して、そ
こでの意見を踏まえ保護者対象の

説明会や意見交換を行いたい。

議員

石下東部3つの小学校の統合は、
現在の場所以外になることも考え
ると、方針を明確にしないと地域
の方や保護者からの意見で混乱す
ることが想定されるため、早急に
新校舎等も含めた検討を要望する。
中学校の適正配置計画の第一段
階になる水海道中学校と鬼怒中
校の今後の計画を問う。

教育部長

両校の生徒数は減少傾向となっ
ており、鬼怒中学校の令和5年4
月の新入生はゼロとなる。市長か
らは、統合の目標時期を令和7年
4月1日の提示があった。

議員

教育長に小中学校の適正配置計
画を進める上での所信を問う。

教育長

学校は、児童生徒が適切な集団
の中で、いろいろな考え方に触れ
お互いに認め合い、競い合うこと
が必要と考える。その中で、思考力
や表現力、判断力、問題解決能力
を育み、さらに社会性や規範意識
を身に付ける場所と認識している。



岡野 一男 議員

質問 子育て世帯の支援の一環として、子育て給食費の無償化を図るべき

答弁 学校給食法では、給食費は保護者負担となっている

岡野議員の質問動画



議員

子育て支援の一環として、学校給食の無償化を図るべきである。

教育部長

学校給食法では、給食費は保護者の負担となっている。ただし、令和4年9月から12月の4か月間、国の新型コロナウイルス対応臨時交付金を活用して無償化を行った。

議員

学校給食を無償化している自治体は増えつつある。近隣市町村ではあるか。

学校給食センター所長

今年度、県内で完全無償化をしているのは、4自治体である。

議員

学校給食法では保護者負担と明記されているが、何を根拠に無償化しているのか。

学校給食センター所長

学校給食費補助金要綱等を制定し、実施している。

議員

新型コロナウイルス対応臨時交付金を活用した効果は、把握しているか。

学校給食センター所長

子育て世帯への経済的支援はで

きたものと考えている。

議員

保護者の方々の感想は把握しているか。

学校給食センター所長

「4か月間でも給食費の無料はありがたい」「子どもが多いと大変助かる」という報告を受けている。

議員

他自治体で行っている手法を模倣してもよいのではないか。働いている人の実質賃金は目減りしている現状を鑑みれば教育費負担の軽減を図るべきではないか。

教育部長

市の政策を総合的に勘案して考えていきたい。

議員

市の財政調整基金の残高は、現在約39億円、この基金を活用してどうか。

教育部長

財政調整基金の使い道は、市の総合的施策を勘案して考えていきたい。

議員

大事な税金だからこそ、市民が喜ぶ施策を行ってほしい。



柳井 真吾 議員

質問 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成について

答弁 市民のニーズに応えられるよう、将来的に検討していく

柳井議員の質問動画



議員

帯状疱疹の予防が肝要と思うが、予防策について伺う。

保健衛生部長

帯状疱疹は水ぼうそうのウイルスが原因となって起こる。水ぼうそうが治った後もウイルスは体内に潜伏し、加齢や疲労、ストレスなどで免疫力が低下するとウイルスが活性化して帯状疱疹を発症する。どんな疾病でも共通だが、適度な運動を取り入れながら、バランスの取れた食事や質のいい睡眠を心がけることが重要である。規則正しい生活を送り、発症の原因となる疲労やストレスを解消することが予防策の一つになると考える。

議員

ほかに予防策として、50歳以上の方にはワクチン接種があると聞いているが、どのようなワクチンなのか。また、その効果について伺う。

保健衛生部長

現在、帯状疱疹の予防に効果があるとされているワクチンは2種類ある。一つは水痘ワクチンで副

反応が少なく、接種費用も比較的安価となっているが、帯状疱疹の発生及び帯状疱疹後神経痛の予防効果は約50%程度であり、長期予防効果も低い。もう一つは帯状疱疹ワクチンで、帯状疱疹及び帯状疱疹後神経痛予防効果が高く、発症を長期に予防すると言われている。ただし、副反応の発現率が高いことと、接種費用が高額であり、かつ2回接種が必要であることがネックとなっている。

議員

コロナ禍からアフターコロナに向けて市民の健康を守るため、当市においても接種費用の助成を提案するが、見解を伺う。

保健衛生部長

市民のニーズに応えられるよう、将来的に検討していく。

議員

コロナ禍の影響でストレスを抱え、免疫力が低下し、帯状疱疹になる方が増えることも考えられる。財源をしっかりと確保し、早期に検討することを強く要望する。

【その他の質問】

☆おくやみ窓口について



堀越 道男 議員

質問
会計年度任用職員の
勤勉手当はいつから

答弁
令和6年4月から予定している

堀越議員の
質問動画



議員
12月議会で会計年度任用職員の
勤勉手当について質問したが、そ
の後の動向は。

総務部長

総務省で今国会に地方自治法の
改正案を提出して勤勉手当を支給
できるように改める方針が出され、
早ければ令和6年度から支給が可
能となる見通しである。

議員

令和4年10月の県内の最低賃金
は879円から911円になり、桜
川市を含む17自治体は市の規則を
変えるなどして、10月1日から9
11円を上回るよう事前に手を打
った。しかし、当市他3自治体は
2ヶ月から半年間にわたって最低
賃金を下回る賃金で働くことにな
ったという報道がされた。最低賃
金を下回った4自治体に対して国
県からどんな指導があったのか。

総務部長

総務省から令和4年12月23日付
で、会計年度任用職員の給与水準
の決定は地域の実情を踏まえて適
切に決定することという通知が示
された。茨城県からは令和5年1

月30日付で、令和4年10月以降に
おいて最低賃金を下回る水準の職
員がいる場合は、遡及して号給を
決定するなど、最低賃金を下回る
水準で任用することがないよう通
知が出された。

このため、令和5年2月7日付
で会計年度任用職員の給与に関す
る規則を改正し、直近上位の号給
とする旨の規定を加えた。

議員

古河市などは改正した規則が、
非常に内容がよく分かる形になっ
ているが、当市の内容は、分かり
やすい内容になっていないと思う
がいかがか。

議員

今回の規則の改正は時間給が最
低賃金を下回るときは、これを上
回る直近上位の号給とする規定を
加えたもので、他市と比較して分
かりにくいという認識には至らな
いと感じている。

総務課長

号給の調整ではなく、最低賃金
を下回らないものとして保障する
という文章の方が分かりやすいと
思う。

議員

古河市などは改正した規則が、
非常に内容がよく分かる形になっ
ているが、当市の内容は、分かり
やすい内容になっていないと思う
がいかがか。



佐藤 剛史 議員

質問
市内の道路整備について

答弁
必要性、緊急性、地域のバランス等
を考慮し順次実施していく

佐藤議員の
質問動画



議員
道路整備要望の工事未実施件数
はどのようになっているのか。

都市建設部長

地域からの請願、陳情、要望は道
路整備事業として毎年10件以上提
出されている。道路改良事業につ
いては一つの事業が完了するまで
およそ4、5年を要している。ま
た、道路補修事業については随時
対応しているが、両事業の未実施
件数は345件となっている。

議員

地区別における要望件数はどの
ようになっているのか。

道路課長

石下東地区で40件、石下西地区
で46件、水海道東地区で94件、水
海道西地区で165件となってい
る。

議員

道路整備に関わる予算の状況に
ついて過去3年間の推移は。

都市建設部長

道路整備に関わる予算は道路新
設改良事業費、道路維持事業費、道
路橋りょう維持事業費となってお
り、これら3事業費の過去3年間

の予算額は、令和2年度が13億円、
令和3年度が8億円、令和4年度
が7億円である。

令和3年度において大きく予算
が減っている主な理由は。

議員

令和2年度で旧高崎坂東線バイ
パスの事業が完了したためである。

議員

高崎坂東線完了後における大き
な道路インフラ事業の計画として
は鬼怒川西部における鬼怒川ふれ
あい道路が考えられるが見通しは。

道路課長

現在は国道354号から主要地
方道取手豊岡線までの延長約1・
5kmの区間を工事している。早期
実現に向け、鬼怒川ふれあい道路
建設期成同盟会を通して茨城県に
対して要望活動を実施している。

議員

道路インフラの整備は市民生活
の安全性、利便性確保の観点から
も大切である。予算の都合も重々
承知しているが、緊急性や必要性
をしっかりと考慮し引き続き取り
組んでいきたい。



茂田 信三 議員

市民のために
適正な落札価格を

質問
他市町の動向を注視する

茂田議員の
質問動画



議員

保健推進課長の虚偽答弁、隠蔽の件、謝罪すれば済むこと。

保健推進課長

深くお詫び申し上げます。

議員

水に流すから、今後もきぬ医師会病院小児科については、益々の努力をお願いする。

道の駅の追加予算5千357万円、なぜ一度落札してから数カ月で追加するのか、おかしいではないか。この金額で高級住宅が2軒買える。税金でやる事業でやってはいけないことである。

アグリサイエンスバレー整備課長

議員が言うように変更がない方がよいと思う。

議員

以前の議員全員協議会でより良いものを作るために追加したと言っているが、最初は良い建物を造る気持ちはなかったのか。

アグリサイエンスバレー整備課長

協議を重ねる中で変更が必要になり手続きを取った。

議員

公共事業だからやってはいけない

いことである。住民の血税である。

今の答弁を聞くと公共事業だからいくら使ってもいいということである。公共事業だからこそやってはいけない、それを肝に銘じて仕事をやらなければ駄目である。

アグリサイエンスバレー整備課長

議員の言うとおりでである。

議員

市の建設事業の落札価格が異常に高い。適正な利益を上げるのは当然であるが、競争の原理が働いていない。坂東市の場合、85%くらいと聞いているが、当市の場合95%である10%高い。令和4年の建設費が27億円あるから2億7千万円も違う。

資産活用課長

県の平均は93%である。

議員

入札前に何故予定価格を公表するのか。世間では予定価格を知るために賄賂を使って逮捕されているのではないか、即刻辞めるべきである。

資産活用課長

他市町の入札状況等を注視していく。



坂巻 文夫 議員

内守谷地区の
まちづくりについて

質問
官民連携での検討を進めていく

坂巻議員の
質問動画



議員

内守谷工業団地周辺地区の産業用地創出の検討状況について伺う。

都市建設部長

内守谷地区は、谷和原ICからのアクセスが良好であり、西幹線道路が開通したことで民間事業者からの関心が高まっていると感じている。新たな産業用地の創出について調査した結果、内守谷工業団地東側周辺についても産業用地の適地と考えている。

議員

内守谷地区のまちづくりの現在の状況とこれからについて伺う。

都市建設部長

地域の皆さんのまちづくりの理念と一致することが大前提であるが、実現の見通しのある計画を提案する事業者の民間活力を導入し、官民連携で整備していくことを考えている。

議員

内守谷地区の開発課題は何か。

地域拠点整備課長

農地の転用、インフラ整備や都市計画の変更が必要である。農地を含む開発には国や県等との調整

に多くの時間と労力を要する。都市計画の変更については、地域のまちづくりの理念や意向を踏まえ、市の計画と整合しているかなどを総合的に判断し、県などの関係機関と調整し検討していく。

議員

内守谷地区では、「まちづくり協議会」を発足し地域の意向に沿った良好な土地利用となるまちづくりを検討していきたいと考えている。市長の見解を伺う。

市長

「まちづくり協議会」という地域の皆さんが話し合う場づくりというのは行政にとって本当にありがたい限りである。現在アグリサイエンスバレーに入りきらなかった企業の要望がたくさん来ている。1年でも早く産業用地を創出して企業立地していただくことが、当市の税収の確保、雇用の確保といった様々な場面で必要だと考えている。何よりも地域の皆さんがまわっていただくということが第一条件になってくる。今後とも市としてしっかりとバックアップ体制を組んでいきたいと考えている。



大澤 清 議員

質問
石下地区でも許可業者での一時多量ごみの収集運搬が必要と思うが

答弁
相談・協議を進めていく

大澤議員の質問動画



議員

水海道地区では、令和3年度から一般廃棄物収集運搬許可業者を利用して有料で一時多量ごみの処分を依頼できることになり約2年が経過した。そこで家庭から出る一時多量ごみのニーズについての実績を伺う。

保健衛生部長

一時多量ごみとは、引越しや遺品整理、施設への入所等で一時的に発生する粗大ごみを中心とした多量のごみのごとで、近年、高齢社会の進展などにより、高齢者や車が運転できない方のごみの処理について、その対応が課題となっている。実績としては、令和3年度が24件、令和4年度が2月末時点で21件となっている。

議員

石下地区における家庭から出る一時多量ごみのニーズについて伺う。

保健衛生部長

石下地区においては、市役所へ電話や窓口等でそのような要望や問い合わせは特に寄せられていない。しかし、水海道地区において



遠藤 章江 議員

質問
エコとマナーどちらを優先したら良いでしょうか？

答弁
早急に学校現場の課題を踏まえ検討する

遠藤議員の質問動画



議員

学校給食で牛乳をストローなしでパックから口飲みをする活動について説明を求める。

教育部長

市ではストローの要らない学校給食用牛乳パック School POP (R) を採用している。県より、環境問題やSDGs に対する児童生徒への意識付けとして、プラスチックストロー削減の依頼があり、当市でも令和5年1月16日付で、小中学校に対して協力要請をした。従来どおりストローの使用を希望する児童生徒にはストローの使用も行っている。

議員

パックを上手に開けられない、ストローがないと上手に飲むことができない等、現場では教師が指導に時間が割かれ、低学年児童は食事時間が減り困っている。また、次の問題も考えられる。

- ①パックは、人の手が触れる部分で最悪の場合、作成的に誰かが危険物を塗ることも可能である。
- ②ストローを使っても良い、使わなくても良い、という話を学校の

教育現場に持ち込むと、やる子とやらない子で対立が起こり、いじめに発展する可能性もある。

- ③牛乳アレルギーの児童がパックを開けるのを手伝ったり、飛び散った牛乳に触れたりした場合の危険性もある。

口飲みについて、エコとマナーのどちらを優先するのか、環境問題、SDGs 教育をしっかりと行った後に、児童、教師、保護者も納得の上で実施すべきだったと考えるが。

教育部長

大人の視点としてSDGs、ストローの問題、環境問題、こちらを意識的に優先してしまった結果だと思う。毎日牛乳を飲む子どもたちへの配慮が足らなかったという点で大いに反省している。

小学校から中学校までという年代の違う子どもたちの対応を踏まえた統一ができなかったのは大きな課題、反省ととらえている。

今回指摘があった内容をしっかりと踏まえよう対応するか、早急に学校現場の課題を踏まえ、準備をしっかりと対応していく。



水野 昇 議員

質問 市民の皆様に使っていただいて36年を顧みられた時、将来の常総市の展望は鬼怒川ふれあい道路を活用した発展を目指す

水野議員の質問動画



議員

私が町、市とお世話になった36年はあっという間の年月だったと思ひ出す。「郷土に夢と生きがい」ということを皆さんとお約束してきたことを忘れず守ってきた思いがある。最後の報告の場として登壇させていただいた。

まちづくりを転換させるとか新たなまちづくりなどは、そう簡単にはできないと思っている。この36年で石下地区だけでも51社企業誘致してきた。常総市は今ほとんど発展を遂げている。これから大きな課題もある中で市長として、また皆の支持を得るにはしっかりとした信念をもってやっていただきたいと思っているが、道の駅やその後の事業展開、そういったものもしっかりとやってもらいたいと思ひがある。常総市の将来について、今アグリサイエンスバレーなど大きな事業で皆さんの税金を使っている。だからそれを間違いないようにやってもらいたい。これを市長にお願いする。

市長

9期36年にわたったの議員生活

本当にお疲れ様でした。鬼怒川西部の高崎坂東線の開通に際して多くの地権者の一人ひとりに説得を重ねていただいたこと改めて感謝を申し上げます。

高崎坂東線から大生郷工業団地を抜け、そして豊岡町の国道354号まで突き抜け、現在今つながっている西幹線道路、坂手工業団地から内守谷工業団地まで抜くことが、残された使命でありしっかりと果していきたいと思っている。そして、この鬼怒川ふれあい道路が完成された暁には先にある石下の工業団地まで一本の産業道路としてつなぐことができる。

さらには、アグリサイエンスバレー、そして新産業団地こういつた部分で雇用が大きく必要になり働く場所も増えてくる。周りからも多くの人々が来てもらわなくては雇用を支えられないと考えている。しっかりと雇用対策、また住宅対策をしていき、税収を確保しながら市民サービスの充実を図っていきたいと考えている。

令和5年2月

随時会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、■色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第50号	令和4年度常総市一般会計補正予算（第9号）	補正予算の増額 5,555万9,000円 補正予算後の総額 269億7,542万4,000円	可決



色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件で12ページに掲載しております。

議案番号	議 案 名	内 容	審議結果
議案第51号	常総市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	投票管理者、投票立会人等の選挙に係る非常勤特別職の報酬額に係る規定の整備を行うもの	可決
議案第52号	常総市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	特定教育・保育施設等の運営に関する基準を定める内閣府令が改正されたことに伴い、条例中の規定を府令と同様の内容に改めるもの	可決
議案第53号	常総市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正されたことに伴い、条例中の規定を省令と同様の内容に改めるもの	可決
議案第54号	常総市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正されたことに伴い、条例中の規定を省令と同様の内容に改めるもの	可決
議案第55号	常総市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について	子ども・子育て支援法の改正に伴う規定の整理その他所要の改正を行うもの	可決
議案第56号	常総市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金の額を引き上げる改正を行うもの	可決
議案第57号	常総市道の駅地域振興施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	道の駅の位置を改めるほか、道の駅に設置した電気自動車用急速充電器の利用に係る料金を定める等の改正を行うもの	可決
議案第58号	指定管理者の指定に係る議決事項の変更について	令和3年11月定例会議において議決を経た常総市道の駅地域振興施設における指定管理者について、指定団体を変更するもの	可決
議案第59号	常総市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について	公共下水道事業における受益者負担金等を賦課する区域について、新たに中妻町の一部を水海道第4負担区として加えるもの	可決
議案第60号	市道の路線の廃止について（西302号線）	杉山地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その認定を廃止するもの	可決
議案第61号	市道の路線の廃止について（西671号線）	古間木地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その認定を廃止するもの	可決
議案第62号	市道の路線の変更について（西670号線）	古間木地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から土地の交換及び路線の付け替えの要望があることから、その起点を変更するもの	可決
議案第63号	令和4年度常総市一般会計補正予算（第10号）	補正予算の増額分 補正予算後の総額 2億1,776万円 271億9,318万4,000円	可決
議案第64号	令和4年度常総市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	補正予算の増額分 補正予算後の総額 343万8,000円 68億1,096万3,000円	可決
議案第65号	令和4年度常総市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	補正予算の増額分 補正予算後の総額 1,059万8,000円 14億4,868万8,000円	可決
議案第66号	令和5年度常総市一般会計予算	歳入歳出の総額 （前年比 2億5,800万円減額 1.1%減） 241億1,500万円	可決
議案第67号	令和5年度常総市国民健康保険特別会計予算	歳入歳出の総額 66億6,467万円	可決
議案第68号	令和5年度常総市後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出の総額 15億1,112万9,000円	可決

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第69号	令和5年度常総市介護保険特別会計予算	歳入歳出の総額 53億9,862万6,000円	可決
議案第70号	令和5年度常総市介護サービス事業特別会計予算	歳入歳出の総額 1,934万2,000円	可決
議案第71号	令和5年度常総市水道事業会計予算	収益的予算 収入 16億816万3,000円 支出 15億2,695万1,000円 資本的予算 収入 4億1,150万8,000円 支出 7億8,410万4,000円	可決
議案第72号	令和5年度常総市下水道事業会計予算	収益的予算 収入・支出 14億6,379万1,000円 資本的予算 収入 14億6,298万7,000円 支出 18億834万円	可決
議案第73号	常総市議会の個人情報の保護に関する条例について	個人情報保護法が改正され、議会が同法から適用対象外となったため、議会の個人情報の適切な取り扱い、開示・審査請求の手続き及び罰則等の必要な事項を定めるもの	可決
議案第74号	常総市議会委員会条例の一部を改正する条例について	市議会議員の定数が20名となることに伴い、常任委員会の定数を改正するもの	可決
議案第75号	常総市監査委員の選任につき同意を求めることについて	令和5年5月15日をもって任期満了となることから、新たに松野浩之氏を選任するもの	同意
議案第76号	常総市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	令和5年3月26日をもって任期満了となることから、引き続き鈴木英明氏を選任するもの	同意
請願第4号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	全国一律最低賃金制度を確立し、地域間格差を縮小させるための施策等を国に求めるもの	不採択
推薦第6号	人権擁護委員の推薦について	令和5年6月30日をもって任期満了となることから、引き続き黒澤重美氏を推薦するもの	推薦
推薦第7号	常総市各種委員の推薦について	教育委員会教育長より常総市各種委員の推薦を求められたため、推薦するもの 【市立小中学校校適正配置実施計画検討委員会委員】 草間 典夫、風野 芳之	推薦

＜会議の欠席等の状況＞

3/13 【予算特別委員会】(早退)風野芳之

3/17 【常任委員会】(遅参)遠藤章江

令和5年3月 定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。○:賛成 ×:反対 棄:棄権

議案番号	未来							令明会							共産党	会派所属無し				
	広瀬 光一	飯島 忠	坂野 茂実	小林 剛	中村 博美	風野 芳之	中村 安雄	佐藤 剛史	柳井 真吾	石塚 剛	草間 典夫	吉原 晴照	倉持 守	坂巻 文夫		堀越 道男	大澤 清	遠藤 章江	岡野 一男	茂田 信三
議案第57号	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
議案第58号	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
議案第63号	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○
議案第66号	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
請願第4号	×	×	×	○	○	×	※	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○

※議長は採決に加わらない

大花羽小学校閉校記念式典を開催



小学校への感謝とそれぞれの未来への飛躍を願い「バルーンリリース」



内田校長より神達市長へ
大花羽小学校旗の返納



市議会議員も多数出席

令和5年3月22日、大花羽小学校で児童、保護者、関係者が参加し閉校記念式典が開催され、大花羽小学校133年の歴史に幕を下ろしました。式典には市議会からも多数議員が参加し、中村議長より関係者へのお礼と新年度から新しい学校生活になる児童にエールを送りました。
また、式典後には参加者全員でバルーンリリースを行いました。

茨城県に新滝下橋の

早期建設要望書を提出

当市議会議員と守谷市議会議員で構成される「新滝下橋建設促進議員連盟」では、当市と守谷市を結ぶ滝下橋が、建設後60余年を経過し、幅員が狭く大型車の相互通行ができず、朝夕には慢性的に交通渋滞が発生し、通学する高校生などが危険な状態であることから、それらの状況を解消し、さらには企業の誘致促進など経済の発展と安全確保、また災害時における救援活動や避難誘導のため、新滝下橋の早期建設や周辺の道路整備を求めることを、両市の3月議会承認し、

新滝下橋建設促進議員連盟より茨城県知事に要望書を提出しました。



滝下橋（守谷市街地方面）

令和5年度 常総市の一般会計予算(歳入歳出) 241億1,500万円 と6つの特別会計予算を **可決**

令和5年度予算は、市の未来のため「じょうそう未来創生プラン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業を重点的に取り組むとともに、国の経済対策などを注視しながら、市税増収につながる施策などの予算を議決しました。

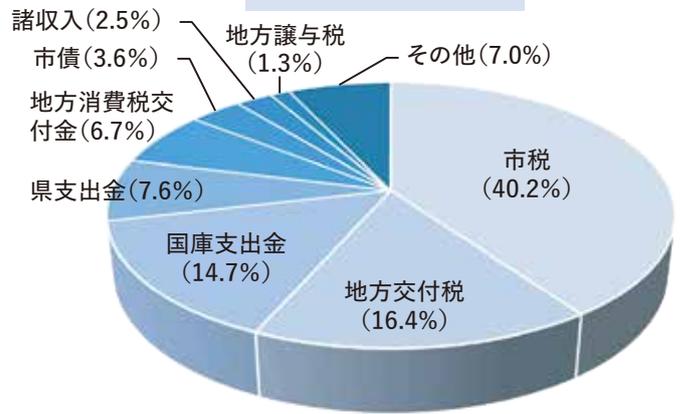
歳入については、一部企業の業績好調や工場などの新規立地、償却資産の増加などにより増収の見込みです。

歳出については、公共施設やインフラ整備などの課題に加え、デジタル社会、脱炭素社会の実現に向けた施策の展開、また光熱水費等の高騰や社会保障費の増加などのため、事業の見直しや基金繰入による収支の均衡を図っています。

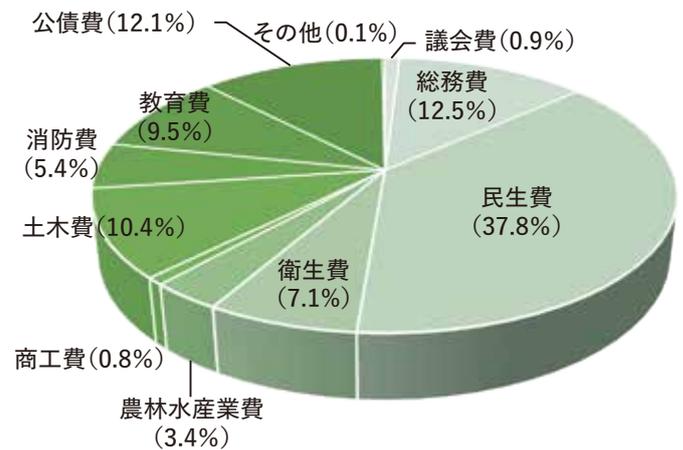
主な重点施策

A | まちづくり、カーボンニュートラル、コミュニティバス運行事業、きぬふれあいセンター大規模改修事業、内守谷公民館建設事業など

歳入項目の割合



歳出項目の割合



空き家活用基盤構築業務 【480万円】

空き家問題解決のため、誰でも利用できるクラウド連携型データベースを整備し空き家の可視化を図り、空き家が積極的に活用される基盤を構築する。これにより空き家の減少と市民の安心安全、地域の活性化を図る。

菅原小スクールバス 運行事業【2,700万円】

統合した菅原小学校で、学校統合により遠距離通学となる児童の安全確保のため、3つのルートを設定し3台のスクールバスを運行する。

令和5年4月より運行中

令和5年度 常総市新規事業（一部抜粋）

～市民の利便性向上や地域の未来のために～

コミュニティバス 運行事業【1,900万円】

関東鉄道常総線や路線バスに接続し、観光施設、公共施設等を結ぶコミュニティバスを運行する。

令和5年度 運行に向けた準備（各種申請や広報）
令和6年度 運行開始予定

内守谷公民館建設事業 【2億7,405万円】

建築から49年が経過し老朽化した内守谷公民館を、生涯学習と防災の拠点として改築する。

令和5年 解体・建築工事
令和6年 供用開始予定

【概要】
木造平屋建 延べ床面積 276.57㎡
（ホール、和洋室×2、調理室など）

AIまちづくり環境 整備事業（あすなろの里） 【900万円】

水海道あすなろの里において、AIまちづくりへ向けた技術実証実験のためモビリティ走行の支障となる道路の改修や安全対策の整備などを行う。

コンビニ交付システム 構築事業【864万円】

現在、マイナンバーカードによりコンビニエンスストアで取得できる、住民票謄本・抄本、印鑑証明書、所得証明書、課税・非課税証明書に加え戸籍謄本などを取得できるようにすることにより、住民サービスの向上や窓口の混雑緩和、業務改善を図る。

開始予定：令和6年1月



常総橋百景

第十景 撮影地常総市篠山
上空からドローンにより撮影

石下大橋



投稿者
直井和夫様

鬼怒川に架かる土浦境線を結ぶ石下大橋。昭和45年より工事を進め昭和49年竣工。

開通式には国、県の関係者をはじめ土地提供者や地区代表者など400人余りで開通を祝いました。

常総橋百景 写真募集中!!

「かけはし」では、あなたが撮影した常総市の橋百景を募集しています。撮影写真、撮影地、お名前、メッセージ（100文字程度）を添えて左記の住所までご応募ください。なお、応募いただいた写真は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

【議会事務局】

〒303-8501
常総市水海道諏訪町
3222-13
☎0297(2)0318

常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>

常総市議会 中継



LINE facebook 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。



WEB



編集後記

改選前、最後の議会日より「かけはし」編集となりました。市民の皆様により親しみやすい紙面づくりと委員会で試行錯誤しながら進めてまいりました。

皆さまからのあたたかい声をいただきながら編集・発行できましたこと改めてお礼申し上げます。

次号からの新しい広報委員会の「かけはし」も引き続きよろしくお祈いします。

【議会広報委員会】

(令和5年4月30日)

かけはし

広報委員会

委員長：岡野一男
副委員長：石塚剛
委員：草間典夫

佐藤剛史
広瀬光一
坂野茂実
飯島忠
柳井真吾

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。